地域と取り組むゴミ分別や生徒発案の環境検定で環境意識向上

協会会長賞　　熊本県　水俣市立水俣第二中学校

水俣病の経験を教訓として日本の環境首都を目指す水俣市では、環境 ISO の概念を取り入れた水俣市オリジナルの学校版を市内の全小中高校で導入しており、総じて生徒の環境美化に対する意識が高い。中でも、今回受賞した水俣市立水俣第二中学校は「環境二中」として知られ、他校の模範となるさまざまな先駆的活動が行われている。

そのひとつが平成 8 年から続いている資源物の分別収集活動。これは、行政区単位で月 1 回実施される 24 種類のゴミ分別収集日に、生徒のほぼ全員が放課後、地域住民とともに資源物の分別収集に取り組む活動だ。自治会の井上能智王（のちお）副会長は、「**子どもたちが地域のために取り組んでいる様子を見て、我々大人もお手本を見せようと環境意識が向上し、子どもと地域の間に大きなつながりもできた**」と絆の深まりを実感。今では、お年寄りのゴミ出しを生徒が率先して手伝う光景も普通に見られ、交流が深まったことで住民と生徒が合同で文化祭を開催するなど格好のまちづくりの機会にもなっている。

さらに、リサイクルや美化活動を深化させた水俣二中独自の取り組みが、平成 16 年度から実施している「校内環境検定」。生徒会の環境委員会の生徒たちが考案した環境に関する知識や行動を問う検定試験で、生徒全員が年 2 回チャレンジする。9 割以上点数を取ると「環境名人」として表彰される制度で、日ごろの行動を振り返るいい機会になっている。

今年は、そうした一連の取り組みを他校との交流会で発表したり、環境だよりを地域向けに作成したりするなど、新たな情報発信活動にも挑む。生徒が主体的に継続して水俣市の環境美化を広めようという意識が根付いている。

写真上：地域住民といっしょに行う月 1 回の地域不用品分別収集活動の様子、写真中：校内環境検定に全校生徒がチャレンジ、写真下：今年から始めた地域に配布する環境だより

熊本県水俣市立水俣第二中学校
学校長：松本秀一
生徒数：264 名（2012 年 11 月末現在）・全 11 学級
住所：熊本県水俣市塩浜町 3 番 1 号
電話：0966-63-3651
アクセス：肥薩おれんじ鉄道「水俣駅」より車で 3 分